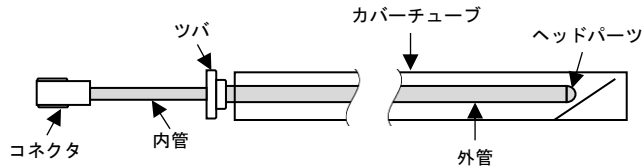


動物用受精卵注入カテーテル モ4号

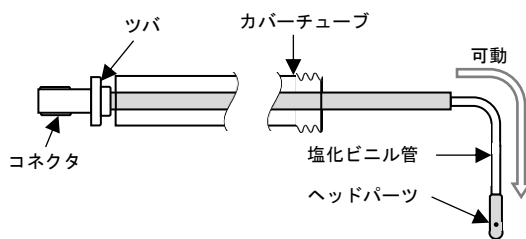
【禁忌・禁止】
 ・本体の再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

（本体およびカバーチューブ
 ヘッド部分が収納された状態）



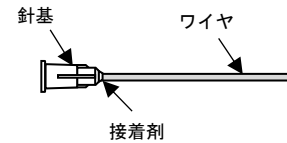
（本体およびカバーチューブ
 ヘッド部分を押し出した状態）



【原料及び材料】

部位	名称	原材料
本体	ヘッドパーツ	ステンレス鋼
	外管	ステンレス鋼
	内管	ステンレス鋼
	ツバ	ABS樹脂
	コネクタ	シリコーンゴム
	塩化ビニル管	ポリ塩化ビニル
カバーチューブ	カバーチューブ	ポリエチレン
押し棒	ワイヤ	ステンレス鋼
	針基	ポリプロピレン
	接着剤	エポキシ樹脂

【押し棒：付属品】



【使用目的又は効果】

動物（主に牛）に使用されることを目的とした、受精卵を子宮内に注入するための器具である。

【使用方法等】

- 受精卵が入っているストロー管（0.25mL）および空の注射筒（2mL程度）を用意する。本体の包装をコネクタ側から開ける。
 （※包装は移植作業直前まで外さない）
 コネクタの穴から、封止部を切り取ったストロー管をしっかり差し込む。
- ストロー管内に押し棒を挿入し、ストロー管の綿栓を押し棒で押し込むことで本体内部に受精卵を移動させる。
- 受精卵が流れ落ちないように本体の平行を保ちながらストロー管を引抜き、押し棒を2mL程度引いた状態の注射筒をコネクタに即座に挿入する。

- カバーチューブを被せたまま、本体を包装から取り出し、牛の膣に挿入する。子宮頸管を通る時にカバーチューブをコネクタ側に引っ張りヘッド部分を突き破らせる。
- 子宮に到達したら、コネクタを押し込んでヘッド部分を伸ばす。注射筒の押し棒をゆっくり押し込み、子宮内にストロー管内の受精卵を放出する。

【使用上の注意】

- 包装および製品について、破損・汚損等の異常がある場合は、使用しないこと。
- 本体の再使用禁止。
- 付属品（押し棒）の再使用時は、衛生状態に十分注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

水ぬれに注意し、高温・多湿・直射日光を避けて保管すること。

【製造販売業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：エア・ウォーター・リアライズ株式会社
 住所：茨城県笠間市長兎路1320番地5
 TEL/FAX：0296-77-8649 / 0296-77-8849

【製品に関するお問い合わせ先】

エア・ウォーター・リアライズ株式会社
 電話：0120-305-765
 〈受付時間〉：9:00～17:00